

伊方町議会第 8 5 回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
木嶋 英幸 議員	1 ふるさと納税について	町 長
質問の要旨		
愛媛県が公表した令和 7 年度ふるさと納税実績報告値によると、愛媛県内全体の寄付総額は 204 億 5,445 万円となり、前年度比 18.5%増で過去最高を更新しております。 各自治体による返礼品拡充やプロモーション強化などの取り組みが成果に繋がったと分析されております。 となりの八幡浜市は大幅な伸びを示し愛媛県トップを続けている一方、伊方町を含む一部の自治体では寄付額が減少したと報じられております。 ふるさと納税は財源確保にとどまらず、地域産業の活性化や事業者育成、地域の魅力発信にも繋がる重要な施策と考えています。 そこでお伺いいたします。 県全体が大きく伸びている中で、伊方町の寄付額が減少した要因について、町としてどのように分析されているのかお伺いします。 また、ふるさと納税事業においては、返礼品の魅力向上、新たな商品開発、情報発信の強化等、1 次産業で成り立っている伊方町では必要です。地域事業者、即ち、生産者との継続的な連携・伴走支援が大きく影響するものと考えております。 たくさんの町民に参加を促したり、提案機会やコミュニケーションの充実を期待しておるところです。 今後の寄付額の回復・拡大に向けて、町として地域事業者との連携強化や現場支援の充実をどのように進めていく考えなのかお聞かせください。 単に寄付額を増やすだけでなく、ふるさと納税を地域産業の育成や地域ブランド向上に繋げるために今後どのような具体的施策を展開していくのか、町の方向性についてお伺いします。 ふるさと納税はモノを売る制度ではなく、地域のファンを増やす仕組みであると考えます。 伊方町らしさをどのように磨き、育てていくのか、その点も含めてご答弁ください。		